放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　4年　2月　22日　　事業所名　　しあわせ駅生の松原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		2棟あるため、個別や少人数に分けて支援することができている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		児童2名に対し職員1名の割合での配置に努めている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		簡易スロープを常備している。	必要に応じて、工夫していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		昼礼・終礼の中で、話し合う事ができている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		利用者アンケート等を活用し、ニーズに応えるよう努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実地指導などで助言を受けた内容など改善に努めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修、外部研修に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者のニーズだけではなく、本人のニーズも大切にできるよう努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合いながら企画検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう話し合い、興味の幅を広げられるような支援に努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々に合わせ、個別やペア活動を取り入れたり、中高生の児童へは、社会性や就労を意識した活動を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昼礼にて、打合せを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼にて、職員間で情報共有・振り返りを行い、支援改善に努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に、職員が意見を出し合い行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校送迎時に情報共有に努め、その他連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療ケアが必要な児童は在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		相談支援事業所や保護者様からの情報提供が主。必要に応じて情報共有する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		要望があった際は、支援内容等の情報を提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修へ参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナの影響により、交流の機会がない。地域のイベント等が再会された際は、積極的に参加していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		機会があれば参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている		○		コロナにより、研修会などの企画を控えている。来年度以降、検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		要望があれば面談等も行い、相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナにより、保護者会などの開催はできていない。来年度以降検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		お話があった際は、管理者と窓口対応職員にて協議し、速やかに状況把握や対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPやLINE、書面、連絡帳にて情報発信・お知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護規定に基づき、十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じ、視覚支援等行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修への参加やマニュアル読み合わせや事例を用いて討議している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		保護者様には契約時に説明、職員はマニュアルの読み合わせ等行い、周知している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在、対応を必要とする児童は在籍していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内で情報共有、話し合いを行い、再発防止に努めている。	